

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

サントリープロダクツ(株)宇治川工場(既設)プロダクションセンター新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質					2.9
Q1 室内環境			0.40		3.0
1 音環境		3.0	0.15		3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		
1.2 遮音		3.0	0.40		
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		
3 界床遮音性能(軽衝撃源)			-		
4 界床遮音性能(重衝撃源)			-		
1.3 吸音		3.0	0.20		
2 温熱環境		2.1	0.35		2.1
2.1 室温制御		3.2	0.50		
1 室温	窓システムSG=0.33	3.0	0.38		
2 外皮性能		4.0	0.25		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		
2.2 湿度制御		1.0	0.20		
2.3 空調方式		1.0	0.30		
3 光・視環境		3.4	0.25		3.4
3.1 昼光利用		2.4	0.30		
1 昼光率		2.0	0.60		
2 方位別開口			-		
3 昼光利用設備		3.0	0.40		
3.2 グレア対策		3.0	0.30		
1 昼光制御		3.0	1.00		
3.3 照度	全般照明方式で、500lx≦照度<1000lx	4.0	0.15		
3.4 照明制御	1作業単位で証明制御でき、かつリモコンで制御可能	5.0	0.25		
4 空気質環境		3.8	0.25		3.8
4.1 発生源対策		3.0	0.50		
1 化学汚染物質		3.0	1.00		
4.2 換気		4.3	0.30		
1 換気量	35m ³ /h以上の換気量	5.0	0.33		
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室の床面積の1/30以上	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮	給気口は汚染源のない方に設置かつ各種排気口と6m以上離隔	4.0	0.33		
4.3 運用管理		5.0	0.20		
1 CO ₂ の監視		-	-		
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	1.00		
Q2 サービス性能			0.30		3.4
1 機能性		3.4	0.40		3.4
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40		
1 広さ・収納性		1.0	0.33		
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33		
3 バリアフリー計画	移動円滑化基準の最低限のレベルを満たしている	4.0	0.33		
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30		
1 広さ感・景観	天井高:2.9m以上	5.0	0.33		
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+自販機置場	5.0	0.33		
3 内装計画	インテリアバスを作成し、事前検証をしている	5.0	0.33		
1.3 維持管理		3.5	0.30		
1 維持管理に配慮した設計	トイレの壁・床は防汚性の高い材料を使用	4.0	0.50		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30		3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数		4.1	0.30		
1 躯体材料の耐用年数	ALC:40年	3.0	0.20		
2 外壁仕上材の補修必要間隔		5.0	0.20		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔	床:タイル/ベト20年、天井:ボード類30年等	5.0	0.10		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクト:ガルバリウム、厨房排気ダクト:SUS	4.0	0.10		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管:VP、排水管:VP、冷媒管:Cu	5.0	0.20		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		
2.4 信頼性		2.8	0.20		
1 空調・換気設備		3.0	0.20		
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		
3 電気設備		3.0	0.20		
4 機械・配管支持方法	重要機器において、耐震クラスA	4.0	0.20		
5 通信・情報設備		2.0	0.20		

3 対応性・更新性			3.4	0.30		-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30		-	
1 階高のゆとり		階高:3.9m以上	5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率:0.23	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			2.8	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			1.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性		ケーブル・配管配線により構造材・仕上材を痛めず更新可能	5.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.30		-	2.3
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		外装材に地場産の木材を採用	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30		-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.9
LR1 エネルギー				0.40			4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.68	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI _m =0.16	5.0	0.50		-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1 モニタリング						-	
4.2 運用管理体制						-	
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.5
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		省水型機器の採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60		-	3.6
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		壁タイル、ビニル床タイルにリサイクル材を使用	4.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS+ホードの取まり、OA707の採用	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		ビニル床材用接着剤	4.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0かつ、GWP=10以下の断熱材を使用	4.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				0.30			3.7
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出量削減に配慮	5.0	0.33		-	5.0
2 地域環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の採用なし	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			1.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	1.00		-	
2 振動			-	-		-	
3 悪臭			-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制						-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		屋外広告物照明なし	4.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版

サントリープロダクツ(株)宇治川工場(仮称)プロダクションセンター新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	8.0	■	○	○	-	○	○	-	-	○	○	○	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	■	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0	■	-	-	-	○	-	■	■	■	■	■	■	■	■
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	■	-	-	○	-	-	-	-	■	■	■	■	■	■
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	1.0	■	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	4.0	■	2.0	1.0	-	1.0	-	-	-	■	■	■	■	■	■
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0	■	-	2.0	-	-	-	-	-	1.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	■	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	2.0	■	-	-	2.0	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	■	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	■	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0	■	1.0	-	1.0	3.0	-	-	-	2.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	-	■	-	-	-	-	-	-	-	■	■	■	■	■	■
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	■	1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.3	窓の日射熱取得率(η)	0.3
U値(W/m2K)	窓システム 3.2	屋根	0.4
		外壁	0.6
		床	-
住戸部分	窓システムU値 -	外皮UA値 -	ηAC -
屋光率	1.4%	ηAH -	-
自然換気有効開口面積率	5.6%		

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	.0m ² /人	病床	.0m ² /床	シングル	.0m ²	ツイン	.0m ²
コンセント容量	72.9 VA/m ²						
天井高	3.9 m						
リフレッシュスペース	リフレッシュスペース 34.4%	レストスペース	0.0%				

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	0年
--------	----

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	40年
--------	-----

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	20年
--------	-----

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	15年
--------	-----

3.1.1 階高のゆとり

階高	3.9 m
----	-------

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	23.0%
-------	-------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	2900 N/m ²
-----	-----------------------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	10%	建物緑化指数	0%
--------	-----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	64%	水平投影面積率	6%	地表面対策面積率	6%	舗装面積率	54%
-----	-----	---------	----	----------	----	-------	-----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	0.68	断熱等性能等級	対象外 相当
----------------------	------	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年m ²	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI _m	非住宅 0.16	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
----------------------	----------	----	---	-----	------	------	------	-----	------

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	内壁:珪藻土、床:エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
--------	------------------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	0.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
---------------	--	--------------	--

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3
---------------	---	--------------	---

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
---------------	--	--------------	--

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	65%	隣棟間隔指標Rw	2.02
地表面対策面積率	6.0%	屋根面対策面積率	#DIV/0!
		外壁面対策面積率	#DIV/0!
見付面積Sb	390m ²	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	45.553 m
		基準高さHb	13 m
緑地	179m ²	水面	m ²
		保水性対策面	m ²
		高反射対策面	m ²
		再帰性反射対策面	m ²